

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
毎月最終例会 18:00
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 和田正敏
幹事 田部井良和
会報・雑誌委員長 宮尾 紘司

No. 5

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第816回 平成11年 8月24日 (火)

卓話 “人生72年を顧みる”

会員 菊池 昭元君

毎月最終例会は夜間 (友愛の日)
8月31日(火) 18:00～19:00創立17周年

先週の記録

第815回 平成11年 8月17日 (火)

晴

◆ “我等の生業”

◆新入会員紹介



氏名 牧野 登志子
生年月日 昭和26年 4月15日
事業所 金城学院大学
守山区大森2-1723
TEL 798-0180 FAX 799-2087
地位 教授
自宅 名東区よもぎ台3-405-6
推薦者 和田 正敏
職業分類 女子教育
委員会 親睦活動

◆出席報告

会員 71(69)名 出席 51名
出席率 73.91%
前々回 7月27日 (修正出席率) 95.59%

◆ビジター紹介

2名

◆ゲスト紹介

青少年交換学生 浅見 祐佳さん
桜花学園 IAC 谷崎水帆子さん
江場あすかさん

桜花学園 IAC

〃

〃

河合 絢子さん

若山真奈美さん

多田奈津子さん

◆ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載と致します。

IAC 江場あすかさん挨拶

本日はお招き有難うございます。

今日は私達の活動報告をさせていただきます。まず、私達は週に3日活動し、主に手話で単語を覚えたり、手話コーラスの練習をしています。月に2回手話の先生をお招きし、講習会を開き単語や会話の方法を教えて頂いたり、手話によるスピーチの練習をしています。その他の活動としては、学校周辺の清掃活動や使用済み切手・テレカの回収などがあります。土・日には各自街頭募金や西春町へボランティアに行ったり、今のよう長い休みには色々な施設へ出向いたりします。

最後に今私たちが練習している手話コーラスを発表したいと思います。



IACの皆さんによる手話コーラス
“上を向いて歩こう”を歌と手話を交え披露

青少年交換学生 浅見 祐佳さん挨拶

8月19日にアメリカ、ミネソタ州のウィルマーに行くことになりました。今回私に交換留学という素晴らしい機会を与えて下さり有難うございました。私がロータリーで試験を受けてから早いもので一年以上がたちましたが、オリエンテーションなどを通じ、様々なアドバイスを頂いたり、他国の留学生と友達になり彼らの国々の文化を知ったりと貴重な体験をし、価値のある一年を過ごすことが出来ました。出発を明後日にむかえ、今の私は期待と不安で一杯ですが、持ち前の好奇心と度胸で、この一年間日本で学んだこと

を元に、アメリカで沢山のことを学び、来年皆さんにひとまわり大きく成長した私を見てもらえるよう頑張ってきました。本当に有難うございました。



会長から浅見さんへ激励の花束を!!

田部井幹事報告

1. 今年度クラブ計画書が出来て参りましたので、お帰りにお持ち下さい。
2. ロータリー適用相場1ドル、現在122円が9月より115円となりますので、お知らせ致します。

和田会長挨拶

今月は会員増強及び拡大月間です。新年度早々、三名の方と、今日は、牧野登志子さんが入会されました。当クラブは実にコンパクトにまとまり大変良いと思います。しかし、何を行うにも会員に負担がかかります。武田信玄の『風林火山』の言葉にある、「人は石垣」を考え実行せねばなりません。身近なところにすばらしい人が隠れているのでは、と思います。是非、皆様のお力で会員増強をお願い致します。

インフォームド・コンセントの現実「救急」について話します。

私の病院は二次救急病院として内科系疾患患者様を中心に救急医療を行います。救急車で搬送されてみえる患者様の病態はさまざまです。

どうして救急車に乗って来るの?と考えると、来てもみえます。救急車で来院されても意識がはっきりしている場合は本人にどんな病気の可能性があるか?どんな検査をして、どのような治療をするかを十分に説明する事が出来ますが、そのような患者様はほとんどいません。ほとんどの人は意識が無いか意識があっても極めて重症で話をする事すら出来ない方のほうが多く、救急隊員に患者様の家族を聞いても、独り暮らしの方、単身者が多く直ぐ家族と連絡を取ることができません。一刻を争う場合、本人の同意なしで意識レベル、心臓の状態、呼吸状態を観察し、直ちに採血、心電図、レントゲン等の検査をします。同時に血管確保、膀胱カテーテル、気道確保等救急処置を行います。そうせねば、本人は死んでしまいます。救命処置が終わり検査結果で三次病院へ転送するか?本人の意思と関係なく事を運び判断します。

我々医師はとっさの場合、体と指先がその方の救命の為に自然に動いてしまいます。後先の事を考える前に救命するよう訓練されているのです。たとえ意識がもどらなくても、一時的にしても必ず心臓と呼吸を回復させます。これが我々の使命です。使命と考えても、

最近大変頭を悩ませることが多くなっています。それは、超高齢者に対する救命の現場です。たとえば、我々が見て極めて重症な超高齢者の患者様で時間の問題で死亡すると判断でき、社会的な事を考えて特に本人が苦しむ様な強引な医療処置を行わない方が患者様のためと考える時があります。しかし、突然現れた家族と名乗る人々に何でも良いから少しでも生きさせてくれ!と強引に頼まれる事があります。本人の意思がどこにあったか?分からないまま、心臓に電気ショックを与え人工呼吸器を付けます。瞳孔も散大し機械につながれ延命させられた事があります。『急死状態に成った時の本人の意思と救命医療に対する本人の同意』を家族達は本当に考えているか?疑問を抱く事があります。救急の場におけるインフォームド・コンセントについては今後大変な問題になると思います。

◆◆◆◆◆ ライラセミナーについて ◆◆◆◆◆

◆小山ライラ実行副委員長

お手元に組織表があり今日のお席は各委員会別に分かれて座っていただいております。これからご覧頂くライラセミナーのビデオを元に、更に皆さまのライラの認識を高めて頂き、その後の時間で実行委員の方から委員の方々へ役割等のご説明をお願いしたいと思います。

◆大谷ライラ実行委員長

ライラの主催は地区のライラ委員会と私共はホストにすぎません。が、今回ホストとして与えられたことにさすが千種RCだと言われるようにしていかなければなりません。10月には各クラブへ開催参加のご案内を郵送出来る様、各委員会にて計画実行頂きたいと存じます。当日は、10の分科会に分かれ、青少年を中心に討議が行われますが、参加者全員に満足して頂けるよう、又他クラブのロータリアンの方々が疎外されず、青少年とロータリアンが一体となって素晴らしいセミナーになるよう、何卒皆様の格別のご協力をお願い致します。尚、講師につきましては、萩原さんのお骨折りにより名古屋在住のコラムニスト、ジョン・ギャスライト氏に決まりつつあります。

例会変更のお知らせ

名古屋中RC 8/30(月)、例会場変更の為、8/31(火)
ホテルグランコート名古屋

自宅住所変更のお知らせ

会 員 小坂井 盛雄 君
自宅住所 〒461-0002
東区代官町33-19 C Iビル
TEL(052)932-2721

◆次回例会(8月31日)

友愛の日(創立17周年)

加藤 象山氏による尺八演奏